

フッ化物応用科学特論

Advanced Course of Science of Fluoride Application

キーワード

- ① フッ化物応用
- ② フッ化物の誤謬
- ③ 齲蝕予防効果
- ④ 歯周病予防の可能性
- ⑤ フッ化物の安全性

授業概要

齲蝕の健康格差の是正に有効なフッ化物応用の科学的事実を修得する。現在のところ、ヒトにおいて齲蝕予防の有効性が証明されているのはフッ化物応用とフィッシャーシーラントである。またフッ化物応用については、危険性、有効性について誤解があり、普及の妨げになっている。これらの点を十分に理解し、揺るがない姿勢を貫くことができるように科学的事実の基本とフッ化物応用の科学的事実について最新の知見をもとに、学修し、さらには今後の期待として、歯周病予防の可能性についても学修する。

授業科目の学修目標

ヒトにおいて齲蝕予防の有効性が証明されているフッ化物応用は、科学的に応用量や応用方法が確定しているにも関わらず、危険性の指摘が繰り返されている。本授業により、齲蝕の健康格差の是正に有効なフッ化物応用の歴史を知り、最新の科学的事実と知見を学修することを目標とする。

授業計画

- ① 科学的事実の解釈の仕方とフッ化物応用の歴史、齲蝕予防に関する科学的事実と今後の歯周病予防の可能性を解説する。10コマ 荒川浩久
- ② フッ化物応用の危険性の指摘に関する科学的事実を解説する。8コマ 木本一成
- ③ フッ化物応用の有効性に関する科学的事実を解説する。6コマ 川村和章
- ④ フッ化物応用によるフッ化物摂取量からの安全性に対する解釈を解説する。6コマ 宋文群

教科書および参考書

スタンダード口腔保健学、学建書院、荒川浩久 他編
フッ化物をめぐる誤解を解くための12章、医歯薬出版株式会社、眞木吉信 編

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

学部学生時の齲蝕予防のためのフッ化物応用に関する知識、ならびに歯垢に起因する二大疾患の発生要因とその予防方法に関する知識が必要である。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① フッ化物応用の歴史、齲蝕予防の科学的事実および歯周病予防の可能性を説明できる。
- ② フッ化物応用に対して指摘されている危険性の誤謬について説明できる。
- ③ フッ化物応用の有効性を説明できる。
- ④ フッ化物応用の摂取量からの安全性に対する解釈を説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
80%	20%	0%	0%	0%	0%	0%

評価の要点

- ・試験は授業後の知識の理解度を判定する。20%×4回=80%
- ・5点満点の小テストを4回実施する。5%×4回=20%

理想的な達成レベルの目安

フッ化物応用科学特論の理想的な達成レベルは、総計80%以上を目安とする。